

# NEWSLETTER

No.3

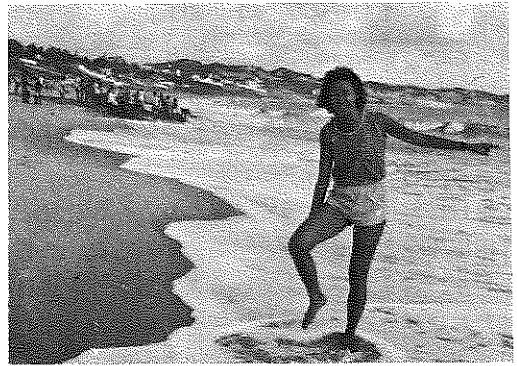
岐阜大学国際交流室 1987年5月12日発行

## ブラジルで思ったこと

福田 親子

私が渡伯しカンピーナスに着いた時、それまで私がブラジルに対して持っていたイメージの半分ほどがくずれていった。ヨーロッパ調のとても素晴らしい町である。この町で1年暮らすんだと思うと胸がいっぱいになった。カンピーナス全体に向かって「よろしくっ！」と叫びたかった。1～2週間ほど、食物・景色・ラジオ・又TV番組等々目新しいものへの興味を示した後、私の留学生としての生活が始まった。そして留学生誰しが出会う様々な難関にぶつかってゆくのである。私の最初のかつ最大の難関は言葉の問題であった。バスでお金を払う時、教室を探す時、人に道を聞かれた時……全てが緊張の連続である。何もわからない。ブラジルにおいて私は全くの赤ん坊であった。そしていつも使っていたのが、「ゴメンナサイ、ワタシハガイジン、ポルトガルゴワカリマセン。」しかしこれでは何も上達しない。そこで時間のたっぷりあった私はほとんど毎日街へ出て歩いてみることにした。私の場合、かえって言葉が通じないことを楽しんでいた面もあるが、店員らとのやりとりはとても楽しいものだった。物を買った後の世間話の方が学校での授業よりもはるかに良い勉強になったと思う。

そうこうして言葉の問題も深刻さからぬけだした頃、うまい具合に3ヶ月の夏休みに入った。私はツアーを選ばなかった。期間も行先も決めず、お金のつづく限り気の向くままに旅した。バス駅に着いたらガイドブックで安いホテルを探し電話をかけこり込み、次の旅先はその場で決めるといったやり方で危険ではあるが、旅先でのふれ合いも多く実りの多い旅だったと思う。旅先で素朴な人々に接し、語り合い、笑い、涙し、どんどん私はブラジルという国にひかれていった。それまでの4ヶ月間、私は不思議の国のアリスのごとく、ブラジルという他国に、日本人が一人入って行って、一つ一つ両国の違いを観察し、驚いているのみであった。しかし旅をきっかけに、今度は両国の共通性をつかみとり、安らぎさえ感じられるようになってきた自分に気がついた。そして旅から戻っての残りの半年、ポルトガル語もなんとかかなり、友も増え始め、私はよりブラジルという国が見えてくるようになった。又、見えてくればくるほど日本との共通性がより多く感じられ、ますます和んだ気持ちで暮らせるようになった。中でも、友らと語り合ったことは、私の見方を変える上で、とても良かったと思う。考えがぶつかり合い、けんかしたこともあったが、彼らはブラジルを内から見させてくれた。両国の違いばかりを見てとることの無意味さ、それよりも共通性を見つけることの大切さなどに気付かせてくれた。又、見ることも感じることもの方が大切であるということも教えてくれた。そして私が心からブラジルを受け入れることができた時、彼らも心から



私を受け入れてくれた。そして日本人・ブラジル人としてのつき合いは徐々になくなっていった。そんな頃、私の帰国となったのだが、いつか再びブラジルへ行ける日が来たとしたなら、私はきっとまたブラジルでやすらぎを感じることができるだろうと思う。

私が向こうで感じとったことはたくさんあるけれども、正直言って一つ一つをことばにして表すことはできない。まだ、私の内部でどろどろと混ざりあっている状態である。いつかそれが何らかの形となって少しずつ表に出てくればと思っている。

教育学部英語科（藤掛）

## 旅行の日記

教員研修留学生 TANG LAI CHAN

十二月四日 木曜日（晴れ）

今日は旅行する日です。私たちと藤掛先生と小沢先生と田尻先生と平井先生と一緒に小坂と高山へ旅行に行きました。日本語を教えている人たちも一緒に行きました。

私たちは朝九時に出発して三台の車で行きました。藤掛先生は自分のスポーツカーを運転しました。

途中で私たちは高い山を見ることができました。山の木の葉がまっ黄色に見えました。山の景色がきれいになっていました。私たちの車はカーブとトンネルを通りました。十一時頃に金山小学校に着きました。私たちは小学生が勉強しているのを見ました。そこで一緒に昼御飯を食べました。昼御飯を食べてから金山中学校へ行きました。学校は静かな所にあります。大変勉強しやすい所だと思います。そこでたくさん写真を撮りました。そして、私たちは旅行を続けました。四時に桃源館に着きました。旅館に着いてからちょっと休んでトランプをして遊びました。

それから、私たちは夕御飯を食べました。旅館でおばあさんがおいしい料理を用意してくれました。夕御飯を食べてからカラオケパーティーをしました。藤掛先生は私たちの国歌の音楽を聞かせてくださいました。私たちは一人ずつ国の国歌を歌いました。その時、私たちは国のことを思い出しました。それから、私たちは歌を歌ったりおどりをおどったりしました。楽しく遊びました。カラオケパーティーをしてから露天風呂と洗湯へ行きました。温泉に入ると私たちは気持ちがよくなりました。それから、部屋で雑談しました。そして、寝ました。

十二月五日 金曜日（雨）

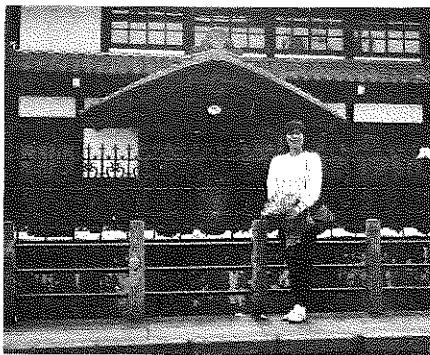
朝六時に目が覚めて外を見ると雪が降っているのが見えました。大変いい景色でした。

朝御飯を食べてから、私たちは出発しました。そして、高山へ行きました。また、私たちの車は曲がりくねった道とトンネルを通りました。途中で私は初めて積もった雪を見ました。私の国ではそのような景色はみたことはありません。山の上にもずっと雪が積もっていました。屋根の上にも木の上にもたくさん雪が積もっていました。クリスマスの日が来たようです。

十一時に私たちは高山に着きました。私たちは色々な所を散歩しました。宮川朝市も通りました。野菜や食べ物や飾り物を売っている店がありました。私たちはいそいで買い物をしました。そこにある建物は大体古い建物です。三時間ぐらいそこで買い物をして私たちは高山を出発しました。

午後五時頃に岐阜大学に着きました。私たちはとても疲れました。しかし、今度の旅行の収穫はけっして小さなものではありません。私たちは皆、旅行が出来て先生方に感謝しています。それに日本のいい景色を見ることによって日本の文化がわかった気がします。

教育学部英語科外国語教育（松川）



# 私、私の国そして日本

教員研修留学生 鄭 聖 汝



「こんにちは。私は韓国から来ました。今年十月三日にここに来て、今ちょうど二カ月になりました。

前から、となりの国日本に、一度は訪問したいと思っていたので、今度、日本の文部省から招かれて岐阜大学で勉強できるようになったことを、とても嬉しく思っています。

私はまだ日本に着いたばかりで、日本の印象について正しく言えるかどうかわかりませんが、私はむこうで高等学校の先生でしたから、今の韓国の学生とか若者たちの日本に対する考え方は少しわかりますので、それを中心にして話したいと思います。

日本と韓国のむかしの歴史的な話はさておいて、今、日本が経済大国になったのは、日本人がやっぱりすぐれた民族性を持っている国民だからだと、今の韓国人は認めております。今まで、だいたい韓国人たちは、日本人のすぐれた面がどんなところか、大きく目を開いて注意してみた結果、考えたとおり、日本人にはすぐれた立派な面がたくさんあったとよく言います。

日本人のいい点として、だいたい大きく五つの面をあげることができます。この五つの面は、韓国人が日本人のようにしたいと思っていることがらです。

1) 日本人はまじめで、勤勉だと言えます。これは世界のどの国の人にも聞いても、日本人と言ったら、まじめな国民だとよく言います。

ここに来てから初めて気が付いたんですが、日本の会社には、出勤という言葉はありますが、この単語の反対語にあたる退勤という言葉がありませんでした。もしかしたらあるかもしれませんが、めったに使わないようです。

私達韓国人は、いや私は、退勤のために出勤することがふつうで、— 私の場合は公務員だからそうなのかもしれませんが— 午後五時になると、まるで時計のようにすぐ帰ります。でも日本人は退勤という単語が使われないほど、一生けん命仕事をしていると言えるでしょう。

2) 日本人はとてもやさしいです。また美しさが好きな国民です。韓国でも、日本人のようにやさしさを身につけようというほどです。

韓国の話ですが、いなか者がソウルに行って、ソウルの人に、「南大門へ行く道をおしえてくださいませんか。」と聞くと、大部分のソウルの人はそのまま立って、ただ指でさして道案内をします。それで実際に教えてもらった通り行ってみるとごちゃごちゃになって、全然わからなくなるのがふつうです。

いつか、留学生のためのパーティーがあって名古屋へ行ったことがあります。帰り道に地下鉄がどこにあるかわからなくなって、通りかかった人に聞きました。そうしたら、その人もよくわからなかったようでした。だけど、その人は、その近くにある交番にきいて、地下鉄が見える所まで私達を連れて行って教えてくださいました。本当にありがたいと思いました。やはり、日本人のやさしさは……。

また、私はその国の言葉の使い方を見ると、その国の人々の心がすぐわかることができます。日本人がよく使う言葉の中では『きれい』『偉い』『すごい』『すてき』などがあります。それが美しさとか、立派なことが好きな日本人のやさしい心をよく表している言葉ではないかと私は思っています。

3) 衛生観念と、清潔性をあげることができます。

約一年前から韓国で、アジア大会と olympic の準備のために、いろんなキャンペーンをしました。

その時日本のタクシー会社では、タクシーの中の清潔のためにどう努力しているか、お客様に対してどれほど親切にするのか、またその教育のためにどう訓練するか、また日本の食堂はどのくらい衛生的で清潔か、お手洗いはどうか……という内容で、日本のタクシー会社と食堂についての番組を作って、テレビで放映したことがありました。世界の人が集まる韓国でも、そのように清潔にしましょうというキャンペーンです。

4) 日本人の貯蓄性をあげることができます。日本が世界で経済大国になった理由の中で一番大事なことは、日本人の貯蓄性をあげることができます。韓国人の貯蓄性は日本と比べてみると、まだまだですから、その面でも日本を手本にしています。

5) 伝統的な茶道について考えてみます。よく知りませんが、私が聞いた事によると、茶道というのは元はむかしの中国の黄河の付近でできたとのこと。大水で川の水が黄色くなって、すぐ飲めなかったので、そこから茶道の儀式ができたということです。

その茶道が中国から韓国、韓国からまた日本に伝えられましたが、中国と韓国ではあまり盛んでなくなって、日本ではそれをもっと発展させて、今の独特な日本文化の一つの様式になったようです。

西洋文明、物質文明の洪水の中で、今の日本の若者たちが自分の国の伝統的なことを忘れないで、今も守って行くことをみると、日本の将来は明るいという感じをうけました。

今まで、日本人について五つの面をあげましたが、一言でまとめてみると、日本という国は、四つの島でできている小さな島国ですが、それを一つの舞台にして、一億二千万の日本人がひとりひとり主人公になって、一つのシナリオに基づいて、全国民が演出し、巨大な叙事詩を創り上げて、今の経済大国日本になったと言えるでしょう。これを団結力と言ってもいいと思います。

教育学部英語科外国語教育（藤掛）



## マーク アダムス

私は、岐阜大学で大学の職員の方に英語を教え、昼休みに日本語を勉強しています。

岐阜県の国際化を図るために、どうすればよいかということについて、少し意見を述べたいと思います。母国語でさえ難しいテーマですので、日本語で正確に述べられるかどうかわかりませんが、わかりにくい点はお許しください。

さて、私は日本に三年半ぐらい住んでいます。というのは、誇るべきものをたくさん持っているあなたがたの国、日本を尊敬し、愛しているからです。しかしながら、今日、私が言わなくてはならないことは、皆さんにとって、聞きたくないことかもしれません。でも、私があなたがたの国を尊敬し、日本がよりすばらしい国になっていくと信じているので、私が述べようとしていることを心に止めてください。

科学的な事ならにおいては、人の意見や態度は問題ではありません。しかし一方で、人間の事ならについては、人の意見や態度、感情は大きな関係があります。というよりは、人間についての事ならは、それらによると言うことができると思います。

一つの考え方は国際化を、社会的、政治的、経済的なプロセスと考える見方です。もう一つの考え

方は国際化を、お互いにより知り合い、より親しくなろうという国々の意志によると考える見方です。

私は二番目の考え方が好ましいと思います。というのは、その方が親しみやすく、誠実な見方だと思うからです。どんなすばらしい意志や試みも、友達になる、人と親しくなるという、だれにもわかる誠実な願いからすすめられなければなりません。言いかえると、国際化を抽象的な面からすすめてはならないと思います。ですから、たとえば、国際的な学術研究を共に分かち合うこと、外国製品をもっと輸入すること、英語の教師をふやすこと、そういうことに関する話し合いの場を持つことなどは、少しはわれわれのゴールに近づくことになるかもしれません。しかし、こういう努力だけでは足りません。外国人に対する態度や感情こそ、この問題についての本当の中心であると言えるのではないかと思います。

これは私の意見ですが、このことについて、おそらく、日本はまだ長い道のりがあるように感じられます。

これは、私が日本にいて感じることでありますが、日本人は、外国人と日本人は同じだと思点より、違っていると思っている点の方が多いのではないのでしょうか。つまり、自分達の深い物の見方や考え方は、外国人には理解できないほどユニークだと思っていることです。さらに言うと、日本人は根本的に外国人と全く違ってユニークであると思っているのではないかということです。

だからもし日本人が、外国人と自分達の共通点を見出したとしても日本人と、どの国の人との間にも、その他のところで絶対的な違いがあるとしか考えないことがあるように思われます。

たとえば、外国人で禅に通じている人があっても、日本人ほどにはわかるはずがないと思っている日本人はたくさんいます。しかし、アメリカ人でさとの境地に達した、高い位のある僧侶がたくさんあるのは確かです。日本人が無意識のうちに持っている、自分達はユニークだという考え方の中で、国際化をすすめるのは、どんなものでしょうか。それはそれで、日本のやり方として良いかもしれません。しかし、もし本当によりよい方法で、国際化をすすめたいとすれば、そういう考え方は障害になるのではないのでしょうか。

本当の国際化をすすめることは、すべての人間としての、よくない点よりよい点を見つけ、国籍を分けるのではなく、人間としてお互いに手をつなぎ合うこと、他の国の人も同じ人間と見なすことにあると思います。

こういう考え方を、もっと効果的にすすめるために、小学校と中学校の社会科と道徳教育を、少し変えることもいいと思います。

たとえば、子供が他の国のこと、そしてその国の人々について話し合い、分析して、本当にいろいろな点が違っているかどうか自分達で考えるといいと思います。要するに、どこの国の文部省も子供達がこういうことを考える時間とチャンスが学校教育にとり入れるべきだと思います。

ところで、岐阜県の公務員の方々が、このような改革をするために文部省に働きかけることができるかどうか、私にはわかりません。しかし、国際的な共同体の中にいるあなたがたの立場を強めるための最も基本的な一歩になると思います。

近いうちに、もし本当にいろいろなことをしようと思えば、中学校、高等学校そして大学で、いくつかのことを奨励し、基金を出すこともできるでしょう。

たとえば、衛生放送を受信するパラボラアンテナを取り付け、外国の放送を見るとか、外国語を習得するためや、外国の社会を理解するためのすぐれた道具として、外国まで電波をとばせる無線機の使用をすすめるというようなことをしたらどうでしょうか。

今までいろいろなことを述べてきましたが、これが日本に住んでいる私の正直な意見です。皆さんにとって、聞きたくないことも、聞いてもしかたないと思われたこともあるかもしれません。しかし、私が日本を愛し、その日本がよりすばらしい国になることを心から願っていることを思い出してください。そして、私の話に耳をかしてくださったことを、心より感謝いたします。



特別聴講生 BILL FAIRCHILD

Listen: This is my first NEWSLETTER entry ever, so it may not be as beautiful and graceful and sweet as it should be. Bare with me. Obviously I had to ask, "What should I write about?" I received various answers ranging from: Your University life in San Diego; Compare San Diego to Gifu University; Life in Gifu; to How do you feel about your life in Japan. OK, here we go.

I moved out of the house about half way through my last year of High School. I had to discipline myself, make my own rules, I was 18. It was not too difficult, I simply lived a "normal" life. The first thing that struck me as really humorous in the International House was the rules and regulations. Catch this (and I quote): "When a resident stays out over night .....he/she is requested to notify the Student Affairs Section beforehand." Of course we can all choose which night we will get so drunk that it is impossible to stand up, call a taxi, or even fit the key into the front door lock, right? We also have rules about our visitors, like "Visitors may visit the House from 9:00 am to 8:00 pm only. Residents should meet them in the lobby. Meeting in their room is prohibited." Or how about this: "Visitors must not stay overnight in the House. When a special circumstance occurs, contact the Student Affairs Section. "Now I don't really understand what a "Special Circumstance" is, maybe I should ask. What is the Student Affairs Section? Is it the part of the University which keeps tabulations on the Affairs of the Students? Why would the University care who is having an affair with whom, who's kissing who? Sounds like a gossip-line to me; *Focus* or *Friday*. So some of the rules are silly, never mind that more than 50% of the people living here have PhD's. I'm the youngest, I'm 23. Alright, I lied, Dipdee is the youngest, she's four years old.

One difference between San Diego and Gifu are the attitudes of the people. America is a country of all races; black, white, yellow, and red. Japan has only Japanese people. Sometimes I feel like I'm from Outer Space, from Mars or somewhere, because people have such a keen interest in looking at me. I understand that foreigners are as obvious as corn growing in a rice field. In the USA the people are all in the same field, *Everyman* is familiar. Where was this taking us— oh yeah, people—watching. This is a healthy hobby of mine, too, it's a great way of learning many things about people very quickly. The point is to be sly about it, like a fox. So be careful, because I'm a fox also, and I will bite your nose off (or wave friendly) if I catch you gazing at me; and then you won't have anything to put into other people's business, or point at: *Watashi no hana wa hana desu*. Translation: My flower is a nose.

I have tried to keep this, my very first NEWSLETTER entry ever, as light and bouncy and fun as possible. If this doesn't end soon, I know some other person from Outer Space will appear and edit this, my very first NEWSLETTER entry ever, into oblivion. I will end on a serious note, quoting from a book by Kurt Vonnegut, Jr., entitled *Breakfast of Champions*. "We are healthy only to the extent that our ideas are humane." And so it goes.....

教育学部国語科 (根岸)

(訳をすることにより失なわれる文学的表現やニュアンスを考慮して原文のままにしました。)

---

## Casey にインタビュー

昨年12月で、約1年の留学を終えてアラスカ大学に帰る江本たけしさんに、帰国直前にインタビューしました。

Q アラスカに帰るにあたっての今の気持ちをお聞かせ下さい。

A 帰りたい気持ちと、まだ日本にいたい気持ちがあります。

Q 日本に住んでいて良かったことや楽しかったことは何でしたか。反対に悲しかったことや苦しかったことは。

A 日本のことがたくさんわかったこと、岐阜に来てみんなに会えたことは、とても良かったです。おもしろかったこともたくさんあります。例えば、「お寺」と「お手洗い」について、ある留学生Aが他の留学生Bに説明しているのを聞いた時です。Aにとっては、その二つの言葉は同じ発音に思えたので、別に違いはないと思ったままBに説明していたのです。とてもおもしろかった。

特に苦しかったということはないけど、夏が暑すぎるのは大変だったです。だからこの前の夏休みには、韓国に逃げました。(本当に旅行したんだけど……)

Q 日本とアラスカでとても違うことは？ また日本に来る前と来てからで日本の印象はどう変わりましたか。

A 日本とアラスカでは天気と人口密度がとても違います。日本に対する印象は、以前と変わったのではなく、前より広がった(理解が深まった?)という気がします。

Q 日本のTVについてどう思いましたか？

A 洋画、野球、すもう、宣伝をよく見ました。外国に来ると、その国の宣伝はおもしろく思えます。アメリカにいるときはアメリカの宣伝はうるさいだけだったけど。

Q ところで、ろばた焼に行ったことがあると聞きましたが。

A はい、あります。岐阜では夏に花火大会が行われますね。去年は、みんなで自転車に乗って行きました。帰りに雨が降って、服がびしょぬれになりました。それでみんなで決めてろばた焼に行きました。服をかわかすために。

Q 国際交流会館にはねずみがいるそうですが、そのことについてどう思いますか？

A ねずみはなくなると困ります。ねずみがいなくなると、猫の必要がなくなります。でもねずみがいると、猫が要るし、猫が子供を産んだら、またその子猫を人にあげようと、人を探します。そんなふうにして、より広い大きな人の輪ができるわけで、あのねずみは大切です。

Q 岐阜大学に望むことがありましたらお聞かせ下さい。

- A
- ・交流室のスペースがもっと広いといいです。
  - ・キャンパスの中での学生の活動がもっと自由に創造的なやり方で盛んになるとよいと思います。
  - ・建物の中は、夏は暑く、冬は寒いです。なんとかならないでしょうか？

Q どうもありがとうございました。最後に、もう一つ、日本にまた来たいと思いますか？  
 A はい、必ずもどって来ます。

江本さんはみんなに Casey と呼ばれ、だれからも好かれていました。その秘けつは、だれにも親切であることと、ユーモアによるようでした。このインタビューの後に「ありがとうございました」というインタビュアーに答えて、Don't touch my moustache! という言葉を残してくれました。「どういたしまして」に聞こえますか？ (田尻)

## THE WEATHER MAKES ME SLEEPY から人類学まで

特別聴講学生 TAKESHI・C・EMOTO

田尻さんからニュースレターのためにお別れの言葉を書いてくださいと頼まれた時、最初に考えたことは日本の印象について書くことでした。しかし、直接に日本にいる間の経験にたいして書くよりはむしろ、日本で出来た友達に関するフレーズとか特徴を書きたくなりました。そこで、文中のフレーズが誰にあたるかを想像してもらいたいです。あなた自身とかあなたの友達に関する事がこのリストに入っていると思いますので楽しみながら読んで下さい。私はあまり長い「さようなら」が好きじゃないから……又ね!



The weather makes me sleepy…勉強中…Greek philosophy …どうですか? どうです  
(ビルマのチーさん)  
 …chicken for the dogs ……誠 龍 飯 …… I serve good coffee …はい、そうです、曹です  
(よく行っていた中華料理店)  
 …fine, and you? …なんと… but my cat died. …ハロー、田中です… ladies and potatoes  
(田中伸美さんのことらしいです)  
 …中国語とテニス… What do you do when you come to a green light? …化学留学 …… the  
(王さん) (フィリビ)  
 softball pitcher ……時 々 …… off to the Philippines …バレーボールをやりましょう ……  
ソのマリルーさん) (時田さん) (中国の施さん)  
 Bowling ball and shoes …日本語のゼミ…jogging …… アラスカ大学短期留学 ……  
(昨年夏の夏のこと、坂大生がアラスカで3週間すごし  
 …… the lefty at SDSU …背が一番高い… toy pipes …… 工学部の英会話 …… Kita  
ました) (森島、伊井君と遊んでいたようです) (留学生がよく  
 House ……彼女が来るそうです…catch ball …あのさあ、おねえさんはいくつで  
く遊びに行っていた北村さんの家)  
 すか… shadow pitching …看護婦さん… I love cats …私は貧乏人です… the perfect husband  
 ……伊 自 良 村 …… GEC this, GEC that …東大へ行く… bicycle to Chiku-  
(ここでテレビにも出演したし、盆踊りもしました) (謝さん) (マイケル)  
 san Center ……と思います… jogging with his family …好きですわ… The Dr. Kuwata Band  
 …おばあちゃんパーマ …… Kritsanee not Kristanee …… 日本語の先生です …… French,  
(タイのニーさんの名前)



English, Japanese, and Korean .....ノンちゃん..... 岐阜べん.....  
(前, 交流室で事務をしていた人) (いろいろ覚えました)

Take Me Home Country Roads ...空手をやって日本語を教える...Rascalさん ...家でスーパー  
 ボールを見た... French restaurant ...バスケットボール, 第三位... great system for remem-  
 bering numbers ...三人分の仕事をしている...やっぱりラーメン ... ブラジル対岐大サッカー.....  
(日伯協会の秋の行事)

いつも忙しい...留学生ボーリング大会... two dryers, one too many ... 生花... the baby blue  
(LOWさん)

bicycle ...コブラ先生... psycho ...あのね, それはいい帽子ね ...日曜日にも研究室へ行く... はい,  
(藤井さん) (留学生って真面目ですね)

国際交流会館です... English is difficult ...金魚へよろしくね... standing from Okayama to  
 Nagoya ...岐大病院英会話..... 韓国の旅..... はい, マリオ説明して, 私は出来ません ... 国際交  
(アルバイト先) (昨年夏の夏のこと) (田尻, 上級クラスでのこと) (河地)

流室のお母さん... サッカーの先生... Acey Deucey ...夜中の二時の自動販売器前の話... 高山 road  
さん) (KYIさん)

trip ...お寺とお手洗いの違い...あなたのお国は? はい岐阜です...トヨタ見学...カンパイ, 又カン  
(チーさんとカフェ)

パイ, 何回もカンパイ... ham disguised as red potatoes... 岐阜の夏は熱いよ... Kafui's theory  
(大変だったね)

... backgammon ...ロバタ... 広島... ホットミルク... I couldn't go to sleep last night..... 相乗  
 効果... should have brought my thesaurus..... 岐大牛乳..... a mouse  
(いつも農場からミルクをとどける脇田さん)

in the house ...高い鼻じゃないけど赤い鼻... 横? banana? lemon?... cast and crutches ...  
 gets the most phone calls ... hi, I am end-of-pine ..... 人類学。  
(末松くんのこと) (松井さん, 交流室のマドンナです)

工学部土木工学(宮城)

(わかるものについてカッコの中に解説を付けました。)

## 後記

ゴールデン・ウィークも終わり、キャンパスのつつじも多少盛りを過ぎた感があります。交流室では新学期の時間割も落ち着き、本格的な授業がすすめられています。

さて第3号は、新年早々に出すつもりでいながら今になってしまいましたので、3月を待たずに日本を去った江本ケイシーさんに関する記事を遅ればせながら載せることになりました。また、何人かの人に、日本人や日本の考え方、日本の文化などについて書いてもらいました。私達が別に何とも感じず通り過ぎている日常的な物事も、別の視点から見ると、こんなふうに見えるんだな……と、改めてその違いを感じたりしましたが、皆さんはどうでしょうか。

(Y. T)



(資料1)

## 留学生日本語学習時間割

(62年5月現在)

	月	火	水	木	金
9:00	大野一鄭	田中一カフイ B (河合)	及川一張華 田尻一カフイ	大野	杉山一タン
10:30 10:40	2	脇田 } 一セシリア 市岡 } A (河合)	後藤一張華 北川一スジャント	古田一金 河野一リー 大野一鄭 及川一ムバラク E (河地)	後藤一ペドロ 脇田一李 D (田尻)
12:10 12:30			田中(り)一張	古田 } 一レオン 河野 }	
13:20	3	C (田尻)	大橋一サバス 毛利一リー	初田一スリポーン	後藤一郭
14:50 15:10	4	漢字クラス (田尻)	河地一ペドロ	河地一クララ	C' (田尻)
16:40					

A～Fは必修で、内容は以下の通り。

- A : 初歩的の日常会話 (スキットによる練習)      D : 上級, 自然な日常会話 (ビデオ使用)  
 B : 中級程度の読み書き, 会話                      E : 基礎文法  
 C : 中級程度の読み書き, 会話                      F : 新聞購読  
 C' : 中級程度の読み書き, 会話

(資料2)

## 岐阜大学外国人留学生新規受入れ氏名

(62年前期分)

## ●インドネシア政府派遣留学生

工学部	ZAGLULSYAH	男	インドネシア	62.4.1～66.3.31
"	INDAH PERMATA	女	"	"

## ●国費留学生

医学部	MIRBOD SEYED MOHAMMAD	男	イ ラ ン	62.4.1～63.3.31	吉川 博 教授
-----	-----------------------	---	-------	----------------	---------

## ●国費留学生 (大学院)

工学部	LOO SOON HUAT	男	マレーシア	62.4.1～63.3.31	武藤高義助教授
"	葉 建 明	男	中華人民共和国	"	黒崎新也教授
"	LEE HOE CHOON	男	マレーシア	"	後藤宗弘教授
"	PANAIOTOU SAVVAS STEPHANOU	男	キ プ ロ ス	"	中川建治教授

## ●私費留学生 (大学院)

医学部	祁 陳 鳳	女	中華人民共和国	62.4.1～66.3.31	尾島昭次教授
-----	-------	---	---------	----------------	--------

## ●私費留学生 (学部)

医学部	劉 新 相	男	台 湾	62.4.1～68.3.31	
"	劉 新 毅	男	"	"	
工学部	TEE KIAN MENG	男	マレーシア	62.4.1～66.3.31	
"	TAN BOON LAY	男	"	"	
"	GOH CHUAN TAI	男	"	"	

## ●私費研究生

医学部	吉夫弘 ネルソン	男	ブ ラ ジ ル	62.4.1～63.3.31	岡 伸光教授
工学部	金 春 中	男	大 韓 民 国	"	志水昭史教授
教養部	篤見 ラウラ こずえ	女	ブ ラ ジ ル	"	神田敏英助教授

発行 岐阜大学国際交流室  
 岐阜市柳戸1番1  
 電話(0582)30-1111 内線2380  
 編集 高橋 弘・田尻由紀子